



ご挨拶

七友会会長 遠藤 隆

長らくお待たせしていましたが、七友会のホームページがやっとリニューアルされ、3月1日から公開しています。岩手大学全学のHPから入って、人文社会科学部のHPに行くと「七友会」のリンクにたどり着きます。

最新情報や、皆様からのご意見。消息などもこれまでよりいち早くお届けすることができます。ドンドンアクセスしていただき、新たな交流の場としていきましょう。

さて昨今の頃は、コロナ禍などという言葉も知らず、「今年はオリンピックの年だ」と浮かれていました。ところがダイヤモンドプリンセス号から次々に感染者が見つかり、パンデミックとか、クラスターなどという聞き慣れない言葉が飛び交うようになって社会の雰囲気は一変してしまいました。私たちが生まれてからこの方、世界中のほとんどの地域で同じ悩みを共有する。こんなことは経験したことがないのではないのでしょうか。夜の街は静まり返り、事業者は家賃の支払いに苦悩する。旅行業者は自粛に苦しみ、GO TO TRAVELに期待し、また休止に苦しむ。医療関係者は必死にウイルスと戦っているのに、心無い人たちの中傷に悩む。この他にも私たちが知らないところでどんなことが起こり、どんなに多くの方が苦しんでいるか計り知れません。このことを前提にしてですが…

私たち岩大の、工学部ですが、先輩でNTTドコモの社長をしておられた吉澤和弘氏と小川智学長の対談を企画しました。企画し放送した時点では吉澤さんは現役の社長で、小川学長もこの企画を大変喜んでくれました。内容はWithコロナの時代を5G技術で乗り切ろうというもので、コロナで密を避けなければならない時代。リモートワークが当たり前の時代になると、東京からは人が去って、むしろ岩手のような田舎にビジネスチャンスが生まれるのではないかと。巨大会社の社長、吉澤さんがこんな企画に乗ってくれるか不安は大きかったのですが、吉澤社長は趣旨に賛同してくださって、わざわざ岩手大学まで出向いて収録に臨んでくださいました。

5Gの技術を使うと、これまでの4Gによるリモートワークの肌触りのなさがなくなり、臨場感が出てくる。熱を帯びた議論や場合によっては化学の実験も可能になる。お二人は予定していた台本にないことまで踏み込んで、岩手の可能性を熱く語ってくださいました。実際、三陸漁業は地球温暖化の影響もあって不振にあえいでいますが、岩手大学の釜石キャンパスには5Gの回線が敷かれ新たな技術開発に取り組んでいます。

苦しみの中で新たな可能性を見出す。それはとても難しいことだし、飲食店の経営者の方たちはそれどころではないかも知れません。しかし、前向きなことにも目を向けて。夢を持つことも大事なのではないのでしょうか。

今年で65になるじじいの私がまだ夢を見ているのだから、若い皆さんはもっともっと大きな可能性を見出してください。期待しています。